

一般財団法人横浜水道会館 2016年度（第49期）事業概要報告

1. 事業の状況について

- (1) 水道事業の振興に関すること（定款第4条第1項）及び水道に関する総合的調査並びに研究（定款第4条第2項）並びに水に関する啓発・広報、防災事業に関すること（定款第4条第3項）

① 公益展示（常設）

開設日 2016年04月01日～2017年03月31日

場 所 1階入りロスペース及び2階公益スペース

見学者 延べ13,346人

② 水道週間（協力）

日時 2016年6月2日（木）11:00～16:00

場所 JR桜木町駅前広場

内容 水源列車の運行、PR、その他

乗車 大人286名、子供582名、合計868名

③ 水のあれこれ体験会2016について

日時 2016年7月23日（土）09:30～16:10

場所 相模大堰（社家取水事務所）、宮ヶ瀬ダム

内容 みずきフェスタへの参加と宮ヶ瀬ダムの見学等

参加 大人29名、子供12名、役員8名（合計49名）

対応 共催者として20万円の資金提供

④ 子供アドベンチャー（協力）

日時 2016年8月17日（水）10:00～15:00

場所 横浜水道記念館前（西谷浄水場）

内容 乗車にあたっては、水源林の働きとおいしい水の秘密、ヨコハマ初めて物語などをお伝えしました。将来子どもたちが社会生活を営むにあたり、何かの一助になれば幸いです。

乗車 大人91人、子供234人、合計325人

⑤ 浄水処理システムの検討～「第12回緩速ろ過（生物浄化法）セミナーin東京」（調査研究活動）

日 時 2016年9月16日（金）、17日（土）

場 所 全水道会館、昭島市水道局ほか

調査員 川島 正道（横水労組）

概 要 小規模水道と緩速ろ過（国内編、海外編）、昭島市の地下水水道保全など

目 的 9月16日～17日東京の全水道会館において、NPO法人地域水道支援センターと全水道水情報センター共催で小規模水道支援の在り方や課題を国内外の広

い視野から考える会が催された。

16日は座学で厚生労働省水道課水道計画指導室の松田室長に「日本国内の水道の現状と課題」を基調講演していただき、その後小規模水道の実践を国内外にわたって具体的に例を示して各講演者が説明した。

厚労省松田室長は水道事業を取り巻く状況と課題を「施設の老朽化、耐震性不足の管路、職員の高齢化による減少、水道料金では資産維持出来ず赤字基調」と指摘した。その上で官民の連携や水道の広域化を推進すべきと訴えた。

その後の小規模水道の実例として岡山県津山市の例を取り上げて緩速ろ過の施設を紹介した。また、海外の例としてサモアやフィジー、アフリカなど、JICAの例をあげて説明していただいた。

17日は地下水水道の保全とまちづくり見学と題し、東京都昭島市を見学した。昭島市は昭和29年に昭和町と拝島町が合併してきた市で人口約11万3千人の町である。

当日は昭島市水道局の施設を見学しながら、昭島市市会議員の大嶽貴恵さんの紹介で市内を見学し歩いてまわった。

昭島市水道局では水道原水を全量100%深層地下水でまかない、濁度は0.1度以下を保持していてなおかつ、水温は15～17℃を保っていて、市内20か所の水源井（深さ150m～250m）から汲み上げている。そのため沈殿やろ過という工程はなく、滅菌処理のみでその残塩は0.2mg/lを保持している。そのため低コストで低料金の水道を市民に供給できるといっていた。この深層地下水は多摩川からではなく、遠く山梨の方から来ているそうだ。

つづいて、市内を歩いて散策し、湧水やわさび田を見学した。町のいたる所に湧水があり、その水路が各家庭を回るように流れていて、水はとてもきれいだった。

このような小さな町でも水をきれいに保持・整備していることはとても大事なことだと思った。

その他 市民PRのため、報告書を1,000枚作成し、当会館入口をはじめ、関係団体に郵送しました。

⑥ 第9回菊名ウォータープラザまつり（協力）

日時 2016年10月1日（土）10:00～15:00

場所 水道局菊名ウォータープラザ

内容 水源涵養機能等のPRするため、水源列車を走らせました。併せて、9月30日（土）に保土ヶ谷区松原商店街内にオープンした、横浜市の水源地である山梨県道志村が運営する「道志情報館 水カフェどうし」の宣伝も行いました。当日の乗車数は、大人281人、子供376人、合計657人でした。

⑦ きれいな水といのちを守る合成洗剤追放第34回全国集会（調査・研究活動）

日 時 2016年10月8日(土)～9日(日)
場 所 石川県金沢市 県文教会館
内 容 元京都大原子炉実験所助教の小出裕章さんが「脱原発と水環境」をテーマに講演。東京電力福島第一原発事故後の汚染水問題を挙げ、「水を汚せば生きていけない。きれいな水を守るためには原子力をやめさせることが一番必要ではないか」と訴えた。事故の発生状況から振り返り、放出された放射性物質の数値を、広島原爆と比べながら解説をした。今も続く原子力緊急事態宣言や、放射性物質を除去できずに増え続ける汚染水にも触れ「多くの公害は水を汚したことが原因。究極の環境汚染が起きている」と警鐘を鳴らした。(北陸中日新聞抜粋 2016年10月9日)

派 遣 調査員を6名派遣しました。(横水労組へ委託)

その他 当会館機関紙(My Water)及びHPで公表。

⑧ 横浜元気!!スポーツ・レクリエーションフェスティバル2016のイベントに関する協力

日 時 2016年10月10日(月祝) 10:00～15:00
場 所 日産スタジアム中央広場
内 容 森林は、生物多様性の保全、土砂災害の防止、水源のかん養、保健休養の場の提供などの極めて多くの多面的機能を有しており、私たちの生活と深くかかわっています。今回のスポーツ・レクリエーションフェスティバルでは、水源林の働きの紹介等の宣伝をするため「水源列車乗車体験」を行いました。併せて、9月30日(土)に保土ヶ谷区松原商店街内にオープンした、横浜市の水源地である山梨県道志村が運営する「道志情報館 水カフェどうし」の宣伝も行いました。

乗車 大人376人、子供594人、合計970人

⑨ 第29回よこはまW a i W a i フェスタ(協力)

日 時 2016年10月22日(土) 10:30～15:00
場 所 横浜公園
内 容 水源列車の乗車では、「水源涵養機能、横浜が発祥のもの」などを説明しました。併せて、9月30日(土)に保土ヶ谷区松原商店街内にオープンした、横浜市の水源地である山梨県道志村が運営する「道志情報館 水カフェどうし」の宣伝も行いました。

乗車 大人154人、子供195人、合計349人

⑩ JR鶴見駅・CIAL改修4周年記念イベントのイベントに関する協力

日 時 2016年10月29日(土) 10:00～15:00
場 所 JR鶴見駅東口広場
内 容 横浜市水道局が道志村水源林取得100周年等、災害時等の水の備蓄促進等

PRのため、イベントを行いました。水源列車は水源林の持つ多面的機能の啓発のため走りました。併せて、9月30日（土）に保土ヶ谷区松原商店街内にオープンした、横浜市の水源地である山梨県道志村が運営する「道志情報館水カフェどうし」の宣伝も行いました。

乗 車 大人 283 人、子供 335 人、合計 618 人

⑪ 第 48 回食とみどり、水を守る全国集会

日 時 2016 年 11 月 25 日（金）～26 日（土）

場 所 北海道札幌市 ホテルロイトン札幌ほか

内 容 地域内経済循環を高めよう！作ろう共生の未来～なまらうまいっしょ！
Hokkaido～をスローガンに全体講演会や「森林・水を中心とする環境問題」分などの科会が展開された。

派 遣 調査員を 7 名派遣しました。（横水労組へ委託）

その他 当会館機関紙（My Water）及び HP で公表。

⑫ ペットボトルの提供

ア) 福島子ども・こらっせ神奈川へのペットボトル水の提供

主催 福島の子ども・こらっせ神奈川

期間 2016 年 8 月 3 日（水）～5 日（金）

場所 丹沢湖（丹沢荘）

協力内容 はまっこどうし 10 箱（240 本）を提供

⑬ 災害時用水缶等の備蓄促進

搬入日 2016 年	備蓄場所	水缶（500ml）	ペットボトル水 （500ml）
7 月	横浜市労連事務所	—	480 本
7 月	相鉄労働会館	240 本	240 本
7 月	神奈川県教育会館	240 本	240 本
7 月	神奈川県高等学校教育会館	240 本	240 本
7 月	横浜市教育会館	240 本	240 本
7 月	神奈川県地域労働文化会館 3F	240 本	240 本
7 月	神奈川県地域労働文化会館 5F	240 本	240 本
7 月	自治労横浜会館	240 本	240 本
7 月	横浜地域連合事務所	240 本	288 本
7 月	連合神奈川事務所	240 本	240 本
7 月	神奈川県労働文化センター	240 本	240 本

⑭ My Water の発行について

第 2 号（2016 年 11 月 14 日発行）500 部

第 3 号（2016 年 12 月 15 日発行）500 部

⑮ 水源列車専属スタッフ会議報告

日 時 2016年12月3日(土) 19:30～

場 所 横浜万葉クラブ会議室

内 容 (ア) 2016年度の水源列車PR活動、(イ) この間の水源列車の運動、(ウ) 今後の対応について、協議を行った。

2016年度の水源列車による水環境保全等のPR活動は6回で、乗車数は3,237名。それぞれの活動で目的を達成することができた。2009年8月22日の初運行から、足掛け8年を経過する中で、この間、47イベント57日の運行をしてきた。述べ乗車数は既に2万人を超えています。(2011年度は東日本大震災の影響でイベントの自粛があった。)

当会館の公益目的事業の一つとして、水源涵養林の役割、水道事業、水循環の大切さなど、乗車を通じてPRができました。

今後、当会館の公益目的支出も計画通りに進み、本年度をもって終了となり、更には、水源列車は商標登録を行っているが、この登録が2018年度に10年の期間を超え、再申請の手続きが難しいこともある。

加えて、運行開始から8年目を迎え、水源列車の老朽化も進み、専属スタッフによる見解を求め、今後については、理事会・評議員会の判断を仰ぐこととした。

2. 処務の概要について

(1) 役員に関する事項 平成28年度 現在役員一覧表

理事・監事

役 職	氏 名	就任年月日	現 職	備考
理事長	石井 栄一	平成26年04月01日	一般財団法人横浜水道会館	
副理事長	二階堂健男	平成26年04月01日	横浜水道労働組合	
常務理事	的場 信也	平成26年04月01日	横浜水道労働組合	
理 事	杉沢和三郎	平成26年04月01日	一般	
理 事	藤山 任史	平成26年04月01日	一般	
理 事	山崎 順三	平成26年04月01日	一般	
理 事	大庭 悟彰	平成26年04月01日	元横浜市議会議員	
理 事	芦沢 春樹	平成26年04月01日	一般社団法人横浜市水友会	
理 事	小林 薫	平成27年03月21日	一般社団法人横浜市水友会	
監 事	禧久 章蔵	平成26年04月01日	横浜水道労働組合	
監 事	細川 順弘	平成26年04月01日	太田会計事務所 税理士	

評議員

役 職	氏 名	就任年月日	現 職	備考
-----	-----	-------	-----	----

評議員	吉川 繁義	平成 26 年 04 月 01 日	一般	
評議員	会沢 賢治	平成 26 年 04 月 01 日	一般	
評議員	星野 国和	平成 26 年 04 月 01 日	元横浜市議会議員	
評議員	横山 征志	平成 26 年 04 月 01 日	一般	
評議員	住中 秀夫	平成 26 年 04 月 01 日	一般社団法人横浜市水友会	
評議員	津田 元	平成 26 年 04 月 01 日	一般社団法人横浜市水友会	
評議員	東 宏	平成 26 年 04 月 01 日	一般	
評議員	山口 公雄	平成 26 年 04 月 01 日	一般	
評議員	安田 武	平成 27 年 03 月 21 日	一般	

(2) 役員会等に関する事項

① 監事会

開催年月日	監査事項	出欠状況		議事の結果	
		出席	欠席	可	否
平成 28 年 06 月 02 日	平成 27 年度分 第 1 回 決算監査	2	0	2	0

② 理事会

開催年月日	議事事項	出欠状況		議事の結果	
		出席	欠席	可	否
平成 28 年 06 月 07 日	平成 28 年度 第 10 回 代表理事及び業務執行理事 の選任の件、2015 年度事業 報告の件、2015 年度決算・ 同監査報告の件、当面の公 益活動の件、第 7 回評議員 会の議案の件	9 (2)	0 (0)	5	0
平成 28 年 08 月 16 日	平成 28 年度 第 11 回 2016 年度経過報告の件、 2016 年度第 1 四半期収支報 告の件、当面の公益活動の 件、第 8 回評議員会の議案 の件	9 (1)	0 (1)	3	0
平成 28 年 11 月 15 日	平成 28 年度 第 12 回 経過報告の件、2016 年度第 2 四半期収支報告の件、当	8 (2)	1 (0)	4	0

	面の公益活動の件、LED 照明器具化の件、第 8 回評議員会の議案の件				
平成 29 年 03 月 14 日	平成 28 年度 第 13 回 2016 年度第 3 四半期収支報告及び決算見込みの件、当面の公益活動の件、2017 年度第 50 期事業計画の件、2017 年度第 50 期予算の件、財団設立 50 周年記念事業実行委員会設置の件、第 9 回評議員会の議案の件	9 (2)	0 (0)	6	0

※ () 数は、監事

③ 評議会

開催年月日	議事事項	出欠状況		議事の結果	
		出席	欠席	可	否
平成 28 年 06 月 07 日	平成 28 年度 第 7 回 代表理事及び業務執行理事の選任の件、2015 年度事業報告の件、2015 年度決算・同監査報告の件、当面の公益活動の件	9	0	4	0
平成 28 年 11 月 15 日	平成 28 年度 第 8 回 経過報告及び公益活動報告の件、2016 年度第 1 四半期収支報告及び 2 四半期収支報告の件、当面の公益活動の件、LED 照明器具化の件	9	0	4	0
平成 29 年 03 月 14 日	平成 28 年度 第 9 回 2016 年度第 3 四半期収支報告及び決算見込みの件、当面の公益活動の件、2017 年度第 50 期事業計画の件、2017 年度第 50 期予算の件、財団設立 50 周年記念事業実行委員会設置の件	9	0	5	0

3. 神奈川県の立入検査について

本年度は実施されませんでした。

4. 行政関係の対応

- ポリ塩化ビフェニル廃棄物保管状況等変更報告書（横浜市資源循環局 2016 年 5 月 11 日）
- 産業廃棄物排出事業所廃止(変更)届出書（横浜市資源循環局 2016 年 5 月 11 日）